

ICTで初工法を披露 大谷川災復現場で

美保テクノス



ICT施工の普及拡大に向け、美保テクノス(野津健市社長)は

3日、ICT法面掘削機を活用して施工中の大谷川砂防災害復旧工事(南部町阿賀)の現場で見学会を開き、県内初となるICTによる

を披露した。見学会には池田典男県米子県土整備局長ら20人が参加。

大谷川の現場のように法面の設計断面が複雑な場合、現状の法面安定化を目的とした工法は、切土面の見た目や土質の硬軟など感覚的な判断で掘削するという伝統的な工法が採られているが、設計内容を無視した施工や過掘削、風化土砂の取り残しが発生するなど多くの課題がある。

な斜面下での丁張設置作業が必要ないため管理業務の安全性確保や作業効率の向上が見込めるほか、3D設計データをモニターでリアルタイムで確認でき、「設計」を基準とした施工が可能となる。

今回使用した法面掘削機は日立建機製ZX50Uに3Dマシンガイダンス機能を搭載させた改良モデルを写真。測位方式にネット環境に依存しないGNSS(RTK)を採用することで山間部など電波が届かない場所での施工も可能となる。美保テクノス土木営業部長兼ICT推進室の但田拓志室長は「ICTにより生産性や安全性が向上すること、3Kからの脱出や担い手確保につながる。今後の設計や施工に役に立ててもらえれば」と語った。

建設業求人6・72倍

ハローワーク米子は、2022年12月の求人と充足をまとめた。有効求人倍率(米子管内)は1・80倍と前年度同月より0・25ポイント上回り、20カ月連続で前年同月を上回った。また、職業別で見ると、建設業の有効求人倍率は6・72倍

境港管理組合 保安業務22日開札

境港管理組合は22日午前10時から、境港保安業務委託の境港市昭和町外を開札する。制限付き一般競争方式の役務入札で、業務区分は施設整備。事前提出物の締め切

りは17日まで。県西部地区に事業所を置き、配置する警備員が30分以内に国際コンテナターミナル管理棟へ到着できることなどが要件。また埠頭保安に関する秘密保持のため、関係書類の閲覧には「概要」履行期間4月1日〜26年3月31日

駅南広

米子

米子 駅南広場
競争入札
事3件を
加申込
に開札
祝込み。

米子駅
米子市
工事。マ
路土工
式、防

米子市
米子市
舗装
298

「概要
画線工
8月10日
市道
改良工事

を示し
全事業
578
(124

らの求
100
の求
(総合

た、就
4人)と
同月と
建設業
万000
業24万

た。